INTERVIEW

リゾートトラスト社長

伊藤 勝康氏
いとう　かつやす

価値観の変容は好機

会員制リゾートクラブ最大手のリゾートトラストは、ホテル運営だけでなく医療事業や介護サービスなど社会の変化を的確にとらえ事業領域を拡大してきた。現在、ホテル会員権、ゴルフ、医療などの会員数は14万人を超える。伊藤勝康社長に高齢化社会を迎えた日本での今後の事業展開と海外戦略について聞いた。

（名古屋・伊藤吉登）

―現在の景況感と今後の見通しは。

「2008年のリーマン・ショックから持ち直した景気が、東日本大震災で落ち込んだ。震災の復興需要を期待していた時にタイの洪水が起きた。欧州の金融危機による景気の不透明感もあり、大型のリゾート施設建設は若干控えないといけない。経済が低成長な時は自然や伝統的なものが重要視される。価値観が変わるため、事業者にとってチャンスでもある」

―国内の事業展開は。

「サービスを高度化する。1日に1回、会員と接触する機会を作れば多くのサービスが提案できる。ホテル業を生かして安全な食事を宅配できるし、生活用品一式の配送も可能だ。一人暮らしの会員に安全や安心感を提供できるようになる。10年後には会員を現在の14万人から20万人に増やしたい」

高齢者向け住宅照準

―医療や介護分野も注力しています。

「1万人の会員から、将来は当社が提供する有料老人ホームや分譲・賃貸の高齢者向け住宅に入りたいとの要望がある。このため東名阪でM&A（合併・買収）を積極化する。リゾートに高齢者向け住宅を造れば、そこで庭仕事などの仕事をしてもらえる。健康な人にいきいきと働く場を提供したい」

―海外戦略は。

「中国をはじめアジア諸国で日本の良質な医療や介護サービスを提供する。一方でより高度なサービスは日本でしか提供できないため、海外から日本へ客を呼び込める。医療関連のほかリゾートクラブ事業でも、合弁事業を展開したい。海外事業は、海外から人を日本に受け入れるために価値観を知るという側面もある」

―日本の産業の基盤である製造業は空洞化が懸念されています。

「愛知県の企業が得意とする精密なモノづくりは、日本に残るだろう。しかし一般的なモノづくりは人件費の安い海外に移る。一方、日本の飲食やホテルなどサービス業の評価は高い。日本には山や清流といった美しい自然がある。アジアの旅行客は日本に四季を求めてやってくる。従来はモノづくり中心の政策だったが、観光立国を進めれば高度なモノづくりと合わせて国内空洞化を防げる。少子高齢化が進むため、女性や老人が働ける場を観光産業で提供していきたい」

メニコン社長

田中 英成氏
たなか　ひでなり

新製品で国内に攻勢

国内のコンタクトレンズ使用者数は、少子高齢化で今後は減少が予想される。国内最大手のメニコン（名古屋市中区）も事業構造の転換を迫られている。11月に日本市場で新たな顧客層の開拓を目指し、1日使い捨てレンズで初の自社開発製品「Mag-c」を投入した。田中英成社長に日本事業の戦略や海外展開、日本企業の強みについて聞いた。

（名古屋・伊藤吉登）

―現在の景況感は。

「東日本大震災後に落ち込んだ生産活動が戻り、最悪期を脱した。ただ国内の環境は決して良くはない。消費マインドは冷えており、人口が減ることで中長期的にみると市場は縮小する。国内のコンタクトレンズ市場は、1日使い捨てレンズが伸びて出荷枚数は増えているが、単価の下落で売上高は横ばいだ。輸入品も増え、当社には逆風だ」

―国内向けに保湿性の高いレンズ素材や厚さ1ミリメートルのパッケージを採用した戦略商品のMag-cを発売しました。

「国内のコンタクトレンズユーザーは約1600万人と、ここ2―3年は横ばいで、今後1―2年で減少に転じる。一方でコンタクトレンズは扱いが面倒だとか目にあわないなどという理由から、使っていない人も多い。性能もパッケージも革新的なMag-cで、今まで使っていなかった顧客層を開拓する」

高品質と技術力武器

―国内トップメーカーに成長した要因は。

「品質の高さと技術力だ。岐阜県各務原市の生産技術開発センターで徹底的に品質向上に取り組んでいる。ハードレンズの旋盤による切削加工の精度は誤差がプラスマイナス0・1マイクロメートル（マイクロは100万分の1）。顕微鏡で見てもバリがない。切削加工技術はソフトレンズの加工や、コンタクトレンズ用精密金型の製造にも生きている」

―海外市場はどのように開拓しますか。

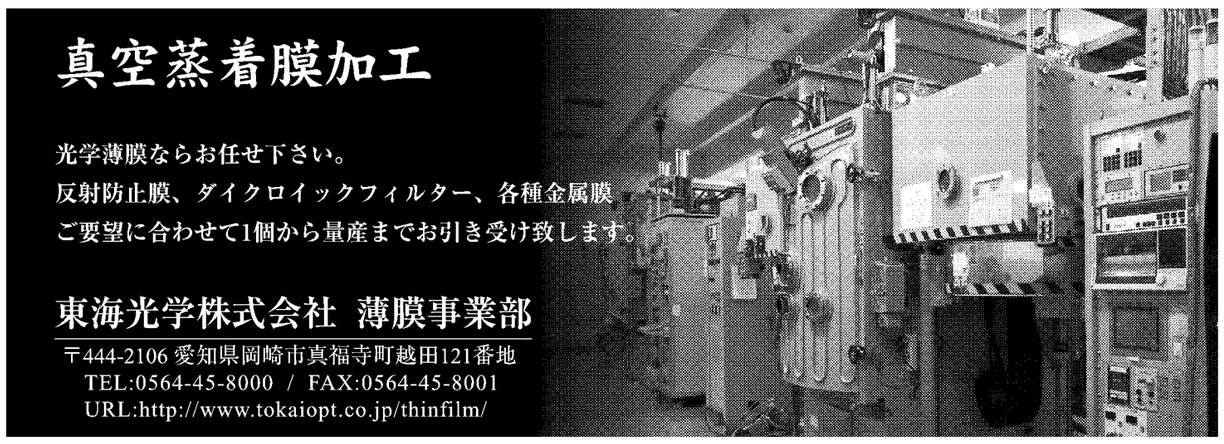
「当社のシェアは世界5位で、東欧、南欧、アジアなど未開拓地域も多い。当社の海外売上高の大半がハードレンズ。当社はソフトレンズを販売する眼鏡チェーン店へのルートがないため、1―2年で整備する」

―日本の企業が優位性を保つには。

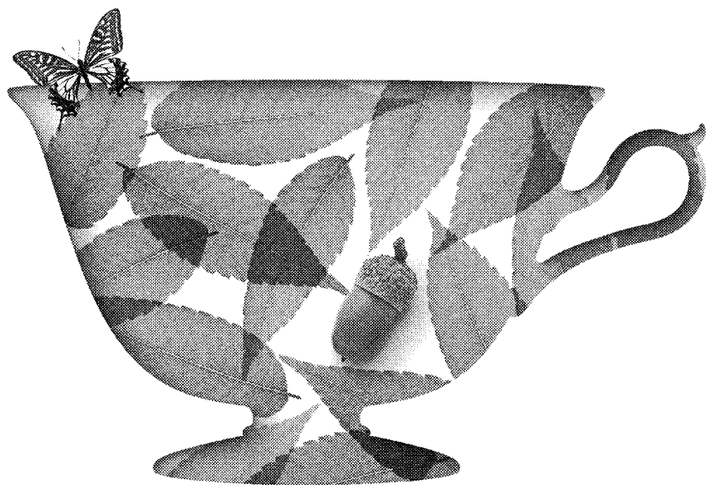
「グローバル化しかない。一部の大量生産品を除き、現地生産・現地販売が前提だ。円高基調の最近の為替動向や税制を考えると、工場や管理部門を海外に移転することも考えられる。ただ、技術開発や国内市場への対応を考えると、国内工場も必要だろう。しかし国内で工場を維持するには、優れた技術を蓄えておく必要がある。そのためにも人口や税制の問題とともに、優秀な人材を育てる国家戦略が重要だ」

「食」はコミュニケーション
食を通じて家族団らんがヤマナカの願いです。
ヤマナカ
名古屋市東区葵三丁目15番31号
TEL 052－937－9300
http://www.super-yamanaka.co.jp

真空蒸着膜加工
光学薄膜ならお任せ下さい。
反射防止膜、ダイクロイックフィルター、各種金属膜
ご要望に合わせて1個から量産までお引き受け致します。
東海光学株式会社 薄膜事業部
〒444-2106 愛知県岡崎市真福寺町越田121番地
TEL:0564-45-8000 / FAX:0564-45-8001
URL:http://www.tokaiopt.co.jp/thinfilm/

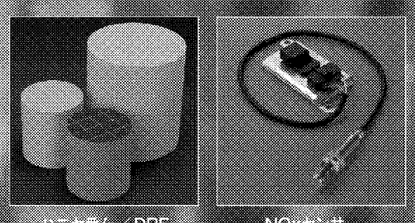


人と地球に、
ノリタケ コアテクノロジー



食器づくりで育んだ技術は、地球環境を守るための技術として活かされています。
100年以上かけて精度を高めた、削る、混ぜる、印刷する、焼く、という
ノリタケのコアテクノロジーは、太陽光発電、リチウムイオン電池といった
新エネルギー分野で、いまや欠かせない存在です。
Noritake
株式会社ノリタケカンパニーリミテド　〒451-8501 名古屋市西区則武新町三丁目1番36号　http://www.noritake.co.jp

心地よい空気を、ずっと未来へ。
日本ガイシ NGK
木々を揺らすクルマの風が、人にも地球にも心地よくあるために。
日本ガイシは独自のセラミック技術で、
自動車の排ガス浄化に役立つ触媒担体「ハニセラム」や
「ディーゼル・パティキュレート・フィルター（DPF）」など、
クリーンなクルマ社会を支える製品を提供しています。
人と地球の未来を守る環境技術。日本ガイシはセラミックスで応えます。



ハニセラム／DPF　NOxセンサー

クルマの排ガス浄化に貢献する
日本ガイシのセラミックス
日本ガイシ株式会社　名古屋市瑞穂区須田町2番56号　http://www.ngk.co.jp/